

## 市民スタッフ (G-free) 紹介

### ◆◆ 竹川 雅美 ◆◆



市民スタッフに加入して3年目の竹川雅美と申します。ぎふアジア映画祭の選定参加は2年目となりますが、他のスタッフさんの映画鑑賞本数や、知識の多さにはいつも感服しています。それでも自分の五感を信じて、議論に加わっています。実は映画選定に費やす時間は膨大です。ぎふアジア映画祭が、岐阜市で根付いてきた歴史を、守りだけではなく攻め込んでいく、そんな姿勢を知りました。少しでもスタッフの戦力になれるように、感性を錆び付かせないように努力していきたいと、毎回考えさせられています。今年も満足いただける作品をそろえ、多くのご鑑賞をお待ちしております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

### ◆◆ 児玉 義弘 ◆◆



4年間文化センターにて働き、市民スタッフ事業とアジア映画を担当してきました。そんなこともあり、市民スタッフ、職員、文化事業のことが気になり、市民スタッフとして外から陰ながら応援しています。現在は、仕事(ビリヤード)の関係で土日は参加できませんが、平日の催しはできる限り参加したいと思っています。

岐阜市民会館、岐阜市文化センターで、活動する文化ボランティアを募集しています。

## 市民スタッフ「G-free」募集!!

### 【活動内容】

- \* 市民会館・文化センター主催事業の補助 (受付や案内等)
- \* 文化事業の新規企画
- \* ぎふアジア映画祭の運営 (作品選定・企画・広報等)
- \* カメラ・ビデオなどの記録撮影
- \* イラストの作成 (活動誌など)

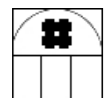


岐阜市文化センター TEL: 058-262-6200



## 岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地  
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114  
<http://gifu-civic.info>



## 岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2  
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229  
<http://gifu-culture.info>



G-free

第12号

平成25年3月31日

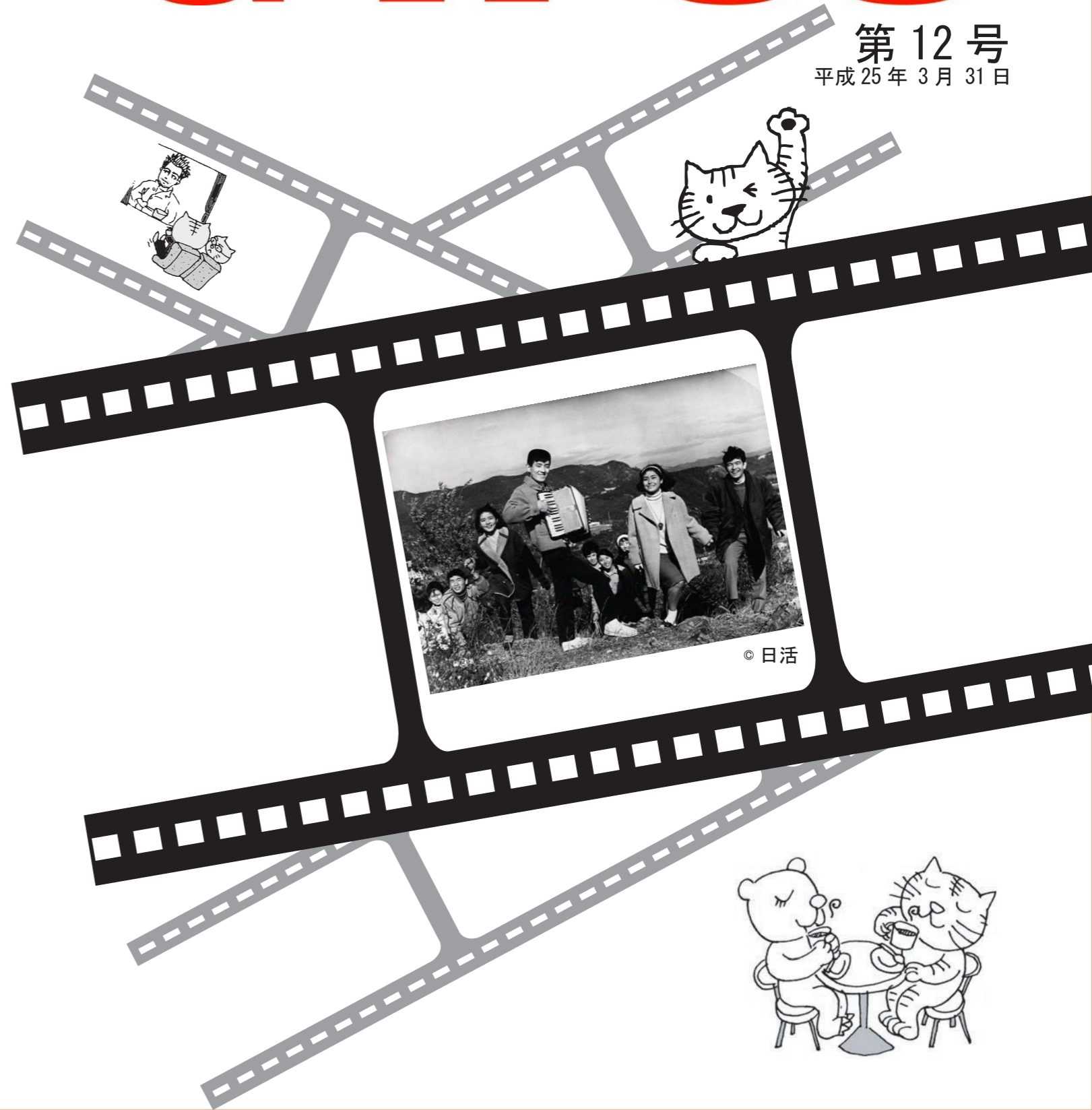
岐阜市民会館・岐阜市文化センター 市民スタッフ活動報告誌



# G-free

第12号

平成25年3月31日





第306回 市民の劇場 市民スタッフ企画 Vol.10

# 花咲く乙女たち & うたごえ広場

～青春をもう一度～

平成 25 年 2 月 2・3 日、岐阜市民会館にて舟木一夫さん主演の昭和 40 年青春歌謡映画が上映されました。ロビーコーナーでは当時のポスター・写真展示のほか、おしるこ・コーヒー・パンの販売なども…。映画の後はうたごえ広場！合唱グループとお客様とで一緒に歌って頂きました。

## 初！お汁粉販売

ロビーは昭和 40 年…賑わっています。正面に「おしるこ」の旗が立ち、看板娘の私たちは「甘くて美味しいお汁粉はいかがですか？お餅も入ってまます！」と、人生でこんなにお汁粉をアピールする日が来るとは、と思いつつ、お客様の笑顔になんとかほんわかとした気持ちになりました。懐かしい映画と甘く暖かいお汁粉のおかげで、誰かに優しくしたいな…と思うような体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

(市民スタッフ 飯田由美子)



おしるこ販売看板三娘

## 発見！ロケ地映像



ロケ地撮影の様子 (岐阜羽島駅にて)

ロケの日はカラリと晴れ渡った好天となりました。第一のロケ地は、冒頭シーンで二人乗りバイクが長良橋を南進した長良橋へ。次は岐阜公園。「木の芽茶屋」へ、例のオートバイが乗り付けるシーンもありました。さて、ロケ地めぐりは映画のラストシーンの新幹線岐阜羽島駅へ。映画では昌次が新品のバイクで走り去るシーン。何も無い空き地でした。そりゃそうです、新幹線は 1959 年、東京オリンピックに合わせて開業したばかり。駅前なんか何もありませんわ。最後のロケ地は JR 岐阜駅。ここも当時とは大変貌しており面影の片鱗もありません。岐阜駅で撮影のころには秋の陽も傾いてきました。「まあこんなところでか」山田さんのお言葉で「花咲く乙女たち」岐阜ロケ地めぐりの楽しい 1 日は幕を閉じたのであります。

(市民スタッフ 西川博)



## 出張研修 In 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

平成 24 年 12 月 10 日

岐阜市内で雪の積もった 12 月 10 日 (月)、文化センター職員 2 名と市民スタッフ 6 名は大津にあるびわ湖ホールに行ってきました。そして、そこで活動しておられる劇場サポーターのことを聞きました。

劇場サポーターは 10 代から 60 代以上の方まで、大津市や近隣の市 (京都・大阪・兵庫含む) から約 100 名が集まり、公開されるオペラ・演劇・コンサート等の PR をしています。そのために年 2～3 回の舞台芸術基礎講座を受け、年 3 回各種の公演を鑑賞してレポートにまとめたり、年度末には「活動記録集」への意見を提出したりしています。私たち市民スタッフのようにチケットもぎりや開演後の客席案内などはしません。彼らは任期 3 年 (再任で 6 年まで) で、なるべく多くの知り合いの方々に催し物の宣伝をすることがサポーターの役目と言うことです。初めてびわ湖ホールに行ったわけですが、建物も大きくて美しく、広いロビーから見えるびわ湖の景色はすばらしかったです。

(市民スタッフ 中島幸子)



びわ湖ホール外観



各ボランティア制度についての会議中



びわ湖ホールボランティア担当者さんたち

## ～みんなで楽しく歌いましょう～

## プレ企画『歌声喫茶』

60 歳、70 歳代の女性が多く、なごやかな雰囲気の中、アコーディオンのリードで懐かしい曲をたくさん歌いました。リクエストも何曲も出て、あっという間に時間が過ぎました。楽しかった！

(市民スタッフ 坂口佳子)



おもしろとよじさんによる、うたごえ喫茶の様子

